附属書[2-4]　固定式高膨脹泡消火装置に使用する泡原液の要件

1．動粘度は、0℃において 110 センチストークス以下であること。
2．PH 価は、20℃において 6 以上 8.5 以下であること。
3．沈でん物は、0.1%以下であり、かつ、海水又は清水に容易に溶けるものであること。
4．海水又は清水と混合させた場合に沈でん物が 0.05%以上発生しないものであること。
5．-5℃及び 65℃の温度で 24 時間保存されていても 1 から 4 までの性状に変化を生じないこと。
6．発生した泡は、発泡後 15 分経過した後においても、初めの水分の 25%以上の水分を含み、かつ、適当な粘性を有するものであること。
7．次の消火試験に適合するものであること。
　直径 1,430mm、深さ 300mm の燃焼容器に、敷水 240l(20±2℃において)及びガソリン 80l(20±2℃において)を入れて図 1 のように施設し、ガソリンに点火してから 30 秒経過後、試験用標準高膨脹泡発生機により泡(ノズルにおける圧力 5.0(-0~＋0.1)kg/cm² にて泡水溶液(泡原液の混合率は清水を用いる場合 2%、海水を用いる場合 3%とする。)を 6l/min 供給する。)を 120 秒間放出し、泡放出開始後 130 秒以内に消火すること。この場合において、水と泡原液の混合液の温度は、20℃を標準とする。

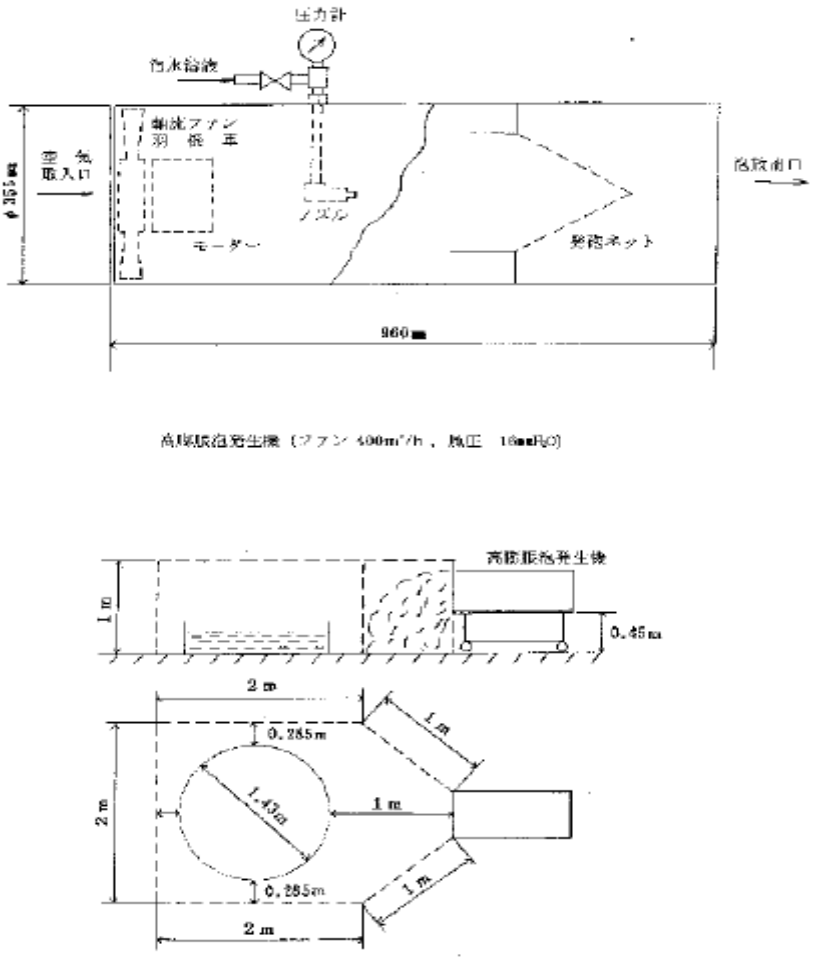

図 1　試験装置